

**団体名：JA種子屋久くまげ地区本部女性部中種子支部ワイワイ畑**

**代表者：石堂えつ子**

**所在地：鹿児島県熊毛郡中種子町野間5137-13**

〔ポイント〕

JA女性部の組織活動として、平成12年「ワイワイ畑」を組織化。新鮮で良質・安価、さらに季節感があり、「顔の見える安心・安全な野菜」を消費者に提供すると共に「地産地消」の考え方を加味し、工夫した直売コーナーを展開し、地域との交流を深め、組織のアピールと活性化につなげていくことを目的として発足。平成12年5月からAコープ中種子店内において、直売コーナー「ワイワイ畑」を設置し、地域で生産される農産物や加工品等を消費者へ提供、平成16年度には2,000万円を突破した。

平成16年4月8日から、中種子町学校給食センターへの野菜の供給をスタートさせた。毎月1回、給食センターとの打合せを行い、品目、数量とも確実に伸びてきている。

また、教育現場等において、子どもたちとの給食交流会や「ちゃぐりんちゃぐっこクラブ」を対象とした生産現場での食育指導を行う等、直売コーナーを拠点とした活動を展開し、島内でも波及効果は高い。

【活動の内容】

1. Aコープ店内の直売コーナーで、地域の消費者へ「顔の見える安心・安全な野菜」を提供するため、会員ができる限り化学肥料や農薬を抑えて栽培・加工した地元の野菜、果物、花きや漬物、茶、だんご類などを陳列・販売。

店内においては、消費者への食べ方などの情報提供や直接コミュニケーションを図るほか、会員の写真や活動等を積極的に紹介。

2. 自治体等との協力関係

平成15年に発足した、関係機関・団体の担当者等で組織する「中種子町地産地消推進協議会」と連携をとり、活動の展開を図る。また、平成16年度から行っている学校給食センターへの食材供給については、毎月1回の学校給食センターとの打合せの中で、供給実績・計画検討を行い、供給体制の強化を図る。

3. 地場農産物の理解の促進

平成13年から小学生で組織された「ちゃぐりんちゃぐっこクラブ」を対象に月1回の研修会を実施し、バレイショの植え付けから収穫、料理体験や、牛のせり市の見学など、地域農業の理解促進のための活動を行う。

また、学校給食への食材供給活動を平成16年4月からスタートさせた給食部会では、実際の教育現場に足を運び、給食交流会等による地域農産物等の理解促進活動を実施。

【活動の成果】

1. 会員数が年々増加傾向にあり、地域交流の輪が広がっている。
2. 消費者の声をいち早く収集し、生産者の顔の見える新鮮で安心・安全な農産物・加工品の販売や消費者のニーズに応じた品揃えや加工品開発等の対策が取られ、消費者からの信頼を得ている。
3. 給食部会での学校給食への食材供給や「ちゃぐりんちゃぐっこクラブ」での農作業体験等の活動を通し、子どもやその保護者への農業や地場農産物に対する理解を促進し、食育・地産地消に対する関心が高まりつつある。